

早期地震警報システム

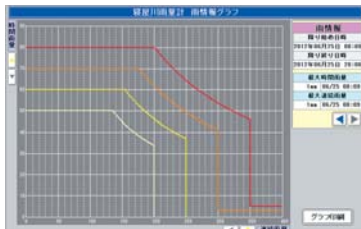
気象庁から配信される緊急地震速報を利用して、当社線沿線で震度4以上が予測される場合は、自動的に列車無線で全列車に対して通報することにより、大きな揺れが到達するまでに危険箇所を避けて緊急停止を行い被害の最小化を図ります。



早期地震警報システム

雨量監視システム

京阪線4カ所に設置した雨量計のデータ(時間雨量と連続雨量)をもとに、法面の降雨に対する強度から速度規制を行い、列車の安全な運行を確保するものです。



雨量監視システム

その他の取り組み

鋼索線(男山ケーブル)の安全対策

鋼索線は、鋼索(ワイヤロープ)に繋がれた車両を巻上装置で巻き上げて運転する仕組みになっています。そのため運転士は山上側にある運転室で巻上機の操作に当たり、ケーブルカーの車内には車掌が運行中の前方確認や扉操作のために乗務します。このように運転士が車内にいないことや急勾配で運転するため、特にブレーキ装置や鋼索の点検・整備には細心の注意を払い運転保安に努めています。



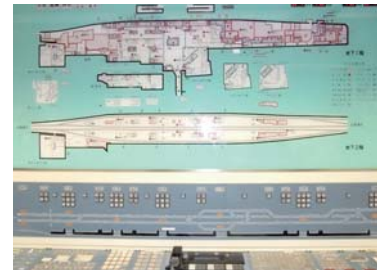
鋼索の点検・整備

▶ 鋼索線における事故想定訓練

男山鋼索線においては、不測の事態・事故に備え、お客さまの避難誘導をはじめとする訓練を定期的実施しています。

地下線の防災監視システム

地下線には、各種の消火設備、排煙設備、避難誘導設備、通報設備、警報設備が設けられています。これら設備の状態や防災情報を24時間一元的に監視しています。



地下線防災監視盤

平成24年度 安全重点施策の目標

火災・自然災害対策の推進(地震、風、雨など)

昨年度に続き、高架橋の耐震補強、地下駅の防火防煙シャッターの設置、自動火災報知機と非常放送装置の連動化を行います。新たに耐震化した変電所を建設します。

平成23年度は12月に八幡市駅において実施しました。



鋼索線での訓練

ひらかたパークの安全対策

当社が運営する「ひらかたパーク」では、鉄道技術部門が安全を確認し、さらに一部の遊戯機のメンテナンスを寝屋川車両基地で行っています。鉄道会社直営の強みを活かし、ひらかたパークと車両部門が協力し、高い技術レベルで遊戯機の安全を支えています。



ジェットコースターの分解整備